

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0784
施設名	なごみ保育園
施設所在地	東京都町田市原町田5-1-5
法人名	社会福祉法人七五三会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「音」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
子ども達が日ごろからリズム遊びや楽器に触れる事を楽しんでいる姿が見られるので、音について深めていきたいため。

2. 活動スケジュール

- ① 2024年 9月13日(金) ～室内での音探し～(4歳児)
- ② 2024年 10月9日(水) ～音の違いを描いて表現する～(4歳児)
- ③ 2024年 11月13日(水) ～様々な楽器に触れて音の違いを探す～(4歳児)
- ④ 2025年 1月15日(水) ～様々な楽器に触れてみる～(1・2歳児)
- ⑤ 2025年 1月 日() ～音を合わせる～(4歳児)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
大太鼓、小太鼓、グロッケン、木琴、ギロ、スズ、カスターネット、タンバリン、ウッドブロック、マラカス、ウィンドウチャイム、エイサー用太鼓
机と椅子を用意し、5人程ずつじっくり楽器に触れていけるようにした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

2歳児→日頃触れている楽器から、初めて目にする楽器まで様々準備し、保育者が鳴らし方を見せてから順番に触れていく。音を聞いたり、鳴らしている際にどのように感じるかを聞いた。
1歳児→大太鼓とエイサー用太鼓を用いて順番に触れたり、音が出る楽しさを感じてみた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
ギロ・ウッドブロック→持ち方・鳴らし方に苦戦するが、特にギロは音が面白い様子。ギザギザした部分を触って喜んでた。
グロッケン→「かわいい音がする、おままみたい」とのこと。スティックを両手に持って叩いたり、スライドさせながら音の出方の違いを楽しんでいた。
大太鼓→「面白い音がする、こわい」と言いつつも、笑顔で楽しんでいる様子も見られる。実際に鳴らす際には保育者が始め手を添え、その後自由に叩いた。
慎重に叩く子もいれば、思い切り叩く姿もある。叩いた時の振動を感じて手で触れる子もいた。
エイサー用太鼓→持ちやすい、鳴らしやすさがあるようで、喜んで鳴らしている子が多い。
1歳児
2歳児クラスから聞こえた大太鼓の音にびっくりして泣いてしまう子もいたが、目の前で楽器を見ると興味を持ち、スティックで自由に叩く姿がある。大きい音にも驚く様子もなかった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・身近な楽器から、普段触れる機会のない楽器(大太鼓など)興味を持って取り組んでいた。特に、触れた事のないものはどんな音がするのかとワクワクしている様子が見られた。(2歳)
・物を見せずに大太鼓の音を聞くと、驚き泣く子もいたが物を見せて叩くと、笑顔が見られて子ども達から手を伸ばす姿が見られた。太鼓の振動も楽しんでいた。大きな音は、年齢関係なく「怖い」と感じる子が多いんだと思った。(1歳)